

# 東京都 スポーツ推進委員だより

第102号

(一社)東京都スポーツ推進委員協議会

2014年 7月24日

編集：情報委員会

ご挨拶



## スポーツ推進委員の存在意義



### 会長 阿部 正幸

日頃より、都スポ協の事業運営にご協力いただき心から感謝申し上げます。

5月24日(土)都スポ協の社員総会が開かれ、平成26年度・27年度の役員が選任されました。役員一同、緊禪一番スポーツ都市東京の実現に向け全力を尽くす所存であります。さて、今年度は多くの自治体がスポーツ推進委員(以下「委員」)の改選期を迎えました。委員の委嘱に際しては、当該区市町村におけるスポーツの推進に係る体制の整備を図るため、社会的信望があり、スポーツに深い関心と理解を有し、熱意と能力があり、地域において効果的に連絡調整を行うことができる人が、性別や年齢のバランスに配慮しつつ選任されたことと思います。

委員として、多様化・高度化する地域住民のスポーツニーズに的確に答えていくためには、多様な組織(人)とのつながりを深め、連携・協働していくことが不可欠です。また、研修事業等を通じて時代に相応しい知識と技術を身につけ、個々の資質のレベルアップ

を図り、委員の職務である連絡調整をしっかりと果たさなければなりません。スポーツ基本法において、連絡調整の役割が追記されましたが、現状では実技指導や区市町村の教育委員会が実施するスポーツ事業の企画・立案・運営等は概ね実施されているものの、総合型地域スポーツクラブの創設や運営への参画、スポーツ全般にわたるコーディネートは十分でない面も見られるとの指摘もあり、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整にさらなる注力が求められています。

昨年3月、東京都は「スポーツ推進計画」を策定し、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しみ、スポーツの力で人と都市が活性化する「スポーツ都市」の実現を目指しています。数値目標に、成人の週1回以上のスポーツ実施率を70%に設定しています。この数値目標を達成して、2020年の東京五輪・パラリンピック開催のレガシー(遺産)にしたいと思います。

今後も、都スポ協は新たな課題や分野へ向かって邁進し、スポーツ推進委員の存在意義を高めるために組織を挙げて取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

社員総会



## 第 1 回 社 員 総 会

平成26年度第1回社員総会が5月24日(土)、牛込筆筈地域センターにおいて開催されました。出席者45名、委任状9名の合計54名でした。



東京都からはオリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部・関口尚志調整課長ならびに担当係長の石崎万里様、篠原信博様が参加されました。



議事に先立ち、3月以降に寄せられた義援金を大島町会長へお渡ししました。

## 議 事

第1号議案 平成25年度（平成25年8月～26年3月）事業報告

第2号議案 平成25年度（平成25年8月～26年3月）収支決算報告・監査報告

その後、役員の変更期に当たるため、平成24年度・25年度の役員は解任されました。

続いて、東京都の石崎係長の進行のもと、第3号議案「役員改選」の議事に移りました。正会員から理事推薦の声が上がり、10名の理事が選出されました。

続いて理事会が開催され、阿部正幸（新宿区）が会長に、新島二三彦（羽村市）、島田泰子（墨田区）、岡

田眞由美（三鷹市）が副会長に、植田浩敏（千代田区）、尾身信晴（葛飾区）が財務、牧野壽義（瑞穂町）企画総務委員長、中川義英（世田谷区）情報委員長、川口眞也（調布市）研修委員長、飯ヶ谷美恵（足立区）女性委員長が決定され、定款に従い清水友美（荒川区）が監事に指名されました。なお、前期の小峰隆研修委員長、田制誠監事の理事が退任される事になりました。

社員総会に続き、16時から功労者表彰、永年勤続表彰の授与式が行われました。

その後、受賞者を囲み祝賀懇親会が「日本出版クラブ」で行われました。



永年勤続表彰受賞者



功労者表彰受賞者 区



功労者表彰受賞者 市町村

## 永年勤続表彰（28名）

千代田区	松永隆吉、佐藤 彬
新宿区	宮本一美、松永 健
文京区	井手元三郎、金子政美、白鳥宗一
台東区	小川修一
墨田区	中村光一
江東区	夏見定雄、山崎莞爾
品川区	照井英里子
杉並区	飯島典子
豊島区	木津美佳

荒川区	三ツ山純子
足立区	中山小夜子、村田 圓
葛飾区	南條誠吉、腰塚幸男
八王子市	梅澤勝彦
立川市	大村勇三
日野市	元岡義夫
稲城市	石坂淑子、菅野 武
あきる野市	原島直人、手塚英子、田制 誠、岸 実

## 功労者表彰（106名）

中央区	久保田菜穂美、薩埵 稔、巻島康之
新宿区	多部田里志、渡辺キワ、奥野厚子、 夏目俊一
文京区	阿部秀孝、大井嘉七美、片 サキ子、 武田純一
台東区	鈴木明美、田中さくみ、仲 豊子 中田秀弘、藤原義和
墨田区	西澤 明、渡邊信生
江東区	安達スミ子、大森正章、北原邦夫 小林恵子、山越 勉
品川区	小田桐義治、関 欣子、左川優子
目黒区	稲田正克、安井さた子、会田陽久、 安部善江、杉本幸二、小野田 寛、 小林茂世、安藤弘之、矢橋 勉、 國井富次、高野アヤ子
大田区	西村 哲、永久保美代子、石渡義仁
渋谷区	茂村眞由美、永元八重子、杉山栄治
中野区	石垣武彦、大津 勉、田沢明男、 布施律子
杉並区	渡邊ひろこ
豊島区	勝木和弘
荒川区	新藤勇一、滝沢裕子、飯塚初江、 永野栄子、齋藤典克、清水友美
足立区	三谷弘明、持田 勤、登坂 涉 小林裕子、森 美枝、石井 修 瀬口広子、多々良晴美

葛飾区	石川好夫、南 博子、今井ルミ子 佐藤のり子、望月清治郎
江戸川区	小島みや、平野秀夫、中里泰子
八王子市	伊大知輝子、小俣茂美、小久保佳昭、 渡辺隆男
立川市	白仁田康子
武蔵野市	岡本武一、里見民恵
三鷹市	青山尋子、小野純一
青梅市	水村 豊、島田文雄、中嶋東治、 石井三四子
昭島市	奥秋千代子、和田幸子
調布市	西嶋 大、池 誠、鈴木美恵、 川口眞也
小金井市	千本木勘博、長谷川嘉子、竹川幸子
国立市	浜田建司
東大和市	岩田圭子
清瀬市	平塚信敏
多摩市	塩澤朝子、山口律子、高山欣也
稲城市	山口敦人
羽村市	堀口和美、正親和代、渋谷権司
瑞穂町	竹嶋一茂、福井いくみ
日の出町	敕使河原麻美

（記事 穴倉祐子 情報委員会 西東京市）  
（写真 小久保佳昭 情報委員会 八王子市）  
（名簿 中川義英 情報委員会 世田谷区）

## 挨拶



## 平成26・27年度 副会長・財務・委員長・監事 あいさつ

副会長 新島 二三彦（羽村市・再任）



都スポ協の副会長に再任されました羽村市の新島です。

2020年東京オリンピック・パラリンピック（五輪）の準備が進められています。五輪は、その開催の過程で私たちを取り巻く環境を大きく変えていきます。

1964年の東京五輪の際には、スポーツを一般市民にも普及させていく役割を体育指導委員（現スポーツ推進委員）が担うことになったと、3月の宿泊研修会で知りました。私たちスポーツ推進委員の役割は、前回東京五輪のレガシー（遺産）として現在に引き継がれているのです。私たちには今、2020年東京五輪のレガシーとして何を残せるのか問われているのだと思います。

成人の週1回当たりのスポーツ実施率を70%にするのは容易ではありませんが、その達成に向けてスポーツ推進委員がそれぞれの地区に見合った活動を展開し、「1地区1レガシー」を残すことができたら素晴らしいことだと思います。

その一翼を担っていけるよう微力を尽くしていきますので、よろしくお願いいたします。

\*\*\*\*\*

副会長 島田 泰子（墨田区・再任）



今期3期目の副会長としてスタートいたしました。まだまだ未熟でなかなか都スポ協の社員の皆様のお役に立てているのには自信がありません。しかし、今期も副会長という重責を任された以上はさらに皆様の活動を支援できるように頑張っていきたいと思っております。

昨年は、「スポーツ祭東京」が各区市町村で開催されました。また、オリンピック、パラリンピックの東京開催も決定し、スポーツへの関心が高まったと思います。そこで、もっとスポーツ実施率を上げるためにも地域に密着している私たちスポーツ推進委員の活躍の場がたくさんあると考えております。東京都のスポーツ振興に少しでも貢献できるよう社員の皆様とともに努力していくつもりです。よろしくお願いいたします。

\*\*\*\*\*

副会長 岡田 真由美（三鷹市・再任）



今期、引き続き副会長に任命され、責任の重さを痛感しております。この重責を全うできるよう努力してまいります。よろしくお願いいたします。

昨年、一般社団法人を取得し、責任あ

る団体として事業・研修を展開し、地域住民のスポーツニーズに的確に答えられるよう、スポーツ推進委員の資質の向上を計っております。地域がスポーツの力で活性化し、東京都全体が活力を増し、2020年のオリンピック・パラリンピック開催の成功に向けて、進化するスポーツ推進活動に取り組んでまいります。

担当の企画総務委員会は、事業活動の要となる、社員総会・会長会・宿泊研修の運営を行っております。

女性委員会においては、地域に密着している女性ならではの視点での研修を企画しております。委員会活動が円滑に行えるようサポートしてまいります。今後とも皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

\*\*\*\*\*

財務 植田 浩敏（千代田区・再任）



今期も引き続き東京都スポーツ推進委員協議会の財務を仰せつかりました千代田区スポーツ推進委員協議会の植田浩敏です。二年間よろしくお願いいたします。

昨年半ばより一般社団法人となり決算書の報告書も今までとは異なり、財務としても対応するだけで精一杯で、最終的には元板橋区スポーツ推進委員の山之内俊彦税理士にお世話になり一般社団法人にふさわしい決算ができることができました。

今年度は尾身財務と共に法人の会計についてより理解を深め、会長や事務局と連絡を密にとり、わからない点につきましては専門家に聞きながらしっかり努めたいと思います。

\*\*\*\*\*

財務 尾身 信晴（葛飾区・再任）



平成26・27年度の財務を拝命致しました。葛飾区スポーツ推進委員協議会の尾身信晴です。財務2期目で、前期は法人化立ち上げの大仕事があり、役員の1人として植田財務と共に尽力する事が出来ました。又会計事務所でも法人化の財務処理について支障がないように先生よりご指導を受け、平成25年8月の一般社団法人東京都スポーツ推進委員協議会社員総会の席に於いて財務報告が出来ました。

法人として、より適正な運営が出来るよう、財務も一層気を引き締めて会費、参加費、分担金等を管理して行きたいと思っております。これからも正副会長、諸先輩方のご指導のもと一生懸命努めて行きたいと思っております。宜しくお願い致します。

\*\*\*\*\*

## 企画総務委員長 牧野 壽義 (瑞穂町・再任)



企画総務委員長として3年目を迎え、新メンバーを含め16名でスタートしました。

2020年に再びオリンピック・パラリンピックが東京で開催されます。その頃になると少子化が進み子供の数が減少しそれに伴い高齢者が増え4人に1人は高齢者になると言われており高齢化の波は避けては通れません。高齢者の実年齢は若くすることは不可能ですが体力年齢を若くすることはでき、まだ世の中に貢献できと思います。

現在問題となっているミドル世代の運動不足が目につきそれらを打破するには地域のスポーツ環境の整備が最も必要になり、今後スポーツ推進委員の創意工夫で、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツの力で心豊かな生涯スポーツ社会の実現を目指したいものです。

\*\*\*\*\*  
情報委員長 中川 義英 (世田谷区・再任)

情報委員長として任命され4期目に入りました。情報委員会は「東京都スポーツ推進委員だより」や「ホームページ」からの情報提供を担当しています。

昨年度のスポーツ祭東京2013を特集した「都スポだより」100号(2014.2.28発行)では皆様にご多大なご協力頂き、大変ありがとうございました。今期もいろいろお世話になるとは思いますが、よろしくお願いいたします。

ホームページはアドホックな情報更新をおこなっております。東京都以外のスポーツ推進委員等からのアクセスが40%を占めており有り難いのかどうか分かりませんが、東京都のスポーツ推進委員の皆様が更に訪れて頂ければ幸いです。

2017年度には都スポ協が60周年を迎え、2018年度は東京で関東スポーツ推進委員研究大会が予定されています。これらの準備活動をともに進めていくとともに、委員会メンバー一同、皆様に活用して頂ける情報の提供・交換、そしてメンバーの相互交流に努めたいと思っております。

\*\*\*\*\*  
研修委員長 川口 眞也 (調布市・新任)

前任の小峰委員長に代わり、研修委員長になりました川口です。どうぞ宜しくお願いします。

研修委員会は、スポーツ推進委員に必要な技術・知識の向上を計る研修をいろいろとおこなって参りました。

子どもや高齢者の体力向上、障害者スポーツの支援にくわえ、最近では「成人の週1回あたりの実施率」です。そのた

めには働き盛り世代、子育て世代のアップが課題ということになり、スポーツ推進委員の役割がますます重要になり、活動の場も今まで以上に広がっていきます。スポーツ推進委員に役立つ研修会をこれからも計画していきたいと考えています。

今期も、年間4回の研修会を実施します。よりよい研修を目指して参ります。

多くの委員の研修会へのご参加を宜しくお願いいたします。

\*\*\*\*\*  
女性委員長 飯ヶ谷 美恵 (足立区・再任)

今期、2期目の女性委員長を仰せつかりました。前期は、委員の皆様にご支えられ充実した委員会活動を行うことができた事を、心より感謝いたします。

女性委員ならではの研修会を企画し、委員の皆さんと会議や準備、当日の運営などで楽しく活動でき大勢の方々に参加していただけた事が、改めてこの役をお受けして良かったと思えました。

近年、女性委員会のあり方については、色々なご意見が聞かれますが、先日関東の女性委員会におきましても、まだまだ女性の登用が少なく女性委員会を継続してほしいとの県もあり、今期も関東女性委員会は活動していく事となりました。東京都は、女性委員の数も38.8%まで上がり、色々な所で女性が活躍されておられますが、今期も女性ならではの企画・研修を通してスポーツ推進委員としての活動に少しでもお役に立てたらとの思いで、皆様と共に進んで行けたらと思います。ご協力、よろしくお願い致します。

\*\*\*\*\*  
監事 清水 友美 (荒川区・新任)

今期、東京都スポーツ推進協議会の監事を新任で務める事になりました。荒川区スポーツ推進委員の清水友美です。

昨年3月に「東京都スポーツ推進計画」により「いつでも、どこでも、いつまでも」をスローガンにして巨大都市東京を盛り上げていくためにスポーツ推進委員の役割は今まで以上に重要であり、活発に活動しなくてはなりません。

推進委員は都民の皆さんに一番身近な運営アドバイザーであり、コーディネータであります。1,500名の推進委員の仲間と共に常に研修を重ねまして資質向上を図っていき、そして監事としてこの協議会の活動状況や財務処理内容をチェックしまして会の適正運営に微力ながら務めてまいり、さらなる協議会の発展に努力してまいります。どうかよろしくお願い致します。

研修会



関東スポーツ推進委員研究大会・表彰式

平成26年6月13日(金)・6月14日(土)、群馬県前橋市の群馬県総合スポーツセンターをメイン会場として、平成26年度関東スポーツ推進委員研究大会が「楽しく 歩いて 健康づくり in 群馬! ウォーク・ハイク・トレッキングの理論と実践」をテーマとして開催されました。

関東1都8県のスポーツ推進委員と生涯スポーツ担当者の2,075名の皆様が参加され、東京都からは93名の皆様が参加されました。

初日の基調講演は「世界の選手に愛されるシューズ作り」という演題で、講師に三村仁司氏(M.Lab(ミムラボ)代表取締役兼アディダスジャパン(株)専属アドバイザー)をお迎えしました。ご自身の担当された選手との(とくに高橋尚子選手)エピソードを交えながら、足とシューズとの関係、優秀な指



導者の条件についてご講演いただきました。

二日目はそれぞれ分科会に分かれ、第1分科会は「歩くについての理論と実践」と題し講師に立正大学教授山西哲郎先生を迎えて行われ、第2分科会は「伊香保会場でハイキングの実践」、第3分科会は「谷川岳〜ノ倉沢周辺トレッキング&ノルディックウォークの実践」が晴天のなか実施されました。



また、初日に行なわれた「関東スポーツ推進委員協議会功労者表彰」の表彰式では88名の方が受賞され、東京都からは8名の方が受賞されました。

功労者表彰受賞者(8名)



野島 和博  
江東区



桑原 敏昭  
足立区



瀧 吉晴  
千代田区



村井 泰雄  
荒川区



稲山 孝樹  
調布市



石川 英次  
昭島市



正木 博  
文京区



土橋 賢一  
瑞穂町

(記事 天野長光 情報委員会 渋谷区)

(写真 小久保佳昭 情報委員会 八王子市)

#####  
編集後記

今年から、東京都スポーツ推進委員協議会のメンバーになりました。東大和市スポーツ推進委員の才郷と申します。6月の第1回情報委員会で東京都スポーツ推進だよりの編集を初めて担当する事となり、新島副会長、中川情報委員会委員長からご指導頂きながら、また、お忙しい中、多くの方から写真や原稿を頂き、102号を発行することが出来感謝申し上げます。

これからも、皆さんからご指導いただくことが山ほどあります、今後ともよろしくお願い致します。

(才郷 正次 情報委員会 東大和市)

#####